

# PANDORA



図書委員会だより2019・11月号  
 奈良県立奈良朱雀高等学校 図書委員会発行  
 担当：総合ビジネス科2組

今年度の標語：「知識」という扉の鍵は「本を読む」ということにあり

クラス別の貸出記録です。(2019・4・1～11・15 日までの集計)



分類→	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	合計
1T1										22	22
1T2										38	38
1T3										1	1
1T4										1	1
1B1		2		1	1	1	1	1		24	31
1B2											0
1B3		1		7	1	2	1	11		41	64
1B4	1	3	5	1	6			3		49	68
2T1										6	6
2T2											0
2T3								11		12	23
2T4											0
2B1				1				2			3
2B2											0
2B3										41	41
2B4			1	5			1	2		55	64
3T1		3			2	2				23	30
3T2											0
3T3			1			1		9		9	20
3T4										1	1
3B1								5		37	42
3B2			1	3		2	1	4		170	181
3B3										5	5
3B4		1		1				1		44	47
職員	2	3	17	15	5	9	5	7		127	190
	3	13	25	34	15	17	9	56	0	706	878



4月からの来館者が2222人を突破しました☆。  
 1年(762人) 2年(327人) 3年(873人) 職員(354人)  
 遠くなくても3年生がたくさん足を運んで来ています♪

## ☆ 映画原作本入りました☆

毎年11月は展示企画「映画原作本 観てから読むか 読んでから観るか」を行っています。今年は少し遅れてしまいましたが、下記の本を取りそろえて本館4階天空の図書館でお待ちしていますので足を運んでくださいね。

新しく入った本	著者	出版社
小説 アルキメデスの大戦 (講談社文庫)	佐野晶・三田紀房	講談社
閉鎖病棟 (新潮文庫)	帚木蓬生	新潮社
小説 空の青さを知る人よ (角川文庫)	超平和とパスターズ・額賀零	KADOKAWA
HUMAN LOST 人間失格 (新潮文庫)	葵遼太・冲方丁	新潮社
小説 かぐや様は告らせたい〜天才たちの恋愛頭脳戦〜 (集英社オレンジ文庫)	羊山十一郎・赤坂アカ	集英社
劇場版アニメ ぼくらの七日間戦争 (角川文庫)	宗田理・伊豆平成	KADOKAWA
初恋ロスタイム〜First Time〜 (メディアワークス文庫)	仁科裕貴	KADOKAWA
初恋ロスタイム〜Advanced Time〜	仁科裕貴	KADOKAWA
罪の声 (講談社文庫)	塩田武士	講談社
祝祭と予感 (『蜜蜂と遠雷』番外編)	恩田陸	幻冬舎
ツナグ 想い人の心得	辻村深月	新潮社



第5回パンドラクイズ「野菜ケシマス」の答えは…「仙人掌(サボテン)」でした。パンドラ紙面にもサボテンのイラストがあるのに気が付きませんか？

正解者：

以上19名の皆さんは12月4日までに図書館カウンターへ景品を取りに来てください。

(今月のパンドラクイズは裏面にあります)

----- 切り取り -----

「模倣本」の在り処は、「594」(5:技術・工学の棚の9・4:家政学・手芸)のコーナーに!

応募用紙 答:( )

\*名前を必ず記入!→( )年( )組( )番・お名前( )

発表の際に名前を伏せてほしい恥ずかしがり屋さんは7文字以内のペンネームも!( )

『打ち上げ花火、下から見るか？横から見るか？』

大根仁 (KADOKAWA)

二年前に映画が公開されて、ほとんどの人がタイトルを知っている作品だと思います。

これは、約二十年前の世界観で、スマホなどが無い頃、ある花火大会の日に幼馴染と花火を横から見るという約束をしましたが、その突然同級生のなずなから駆け落ちに誘われる。しかしなずなは母に連れ戻され、二人は離れ離れになってしまう。主人公はなずなを取り戻すため、もう一度あの花火大会の日をやり直すことを願う、という恋の物語です。ぜひ読んでみてください。

『5分後に戦慄のラスト』

エブリスタ編(河出書房新社)

僕はこの本を見て、まず「本当に5分で終わるのか？」と気になり、読んでみたところ、本当に5分で一作品読み終わりました。よくできるなーと感心しました。

一作品と書いた通り、この本は十一作もの数の作品を一冊にまとめた本です。一作一作思わずぶるっと身震いしてしまいそうになるほどゾッとする気味の悪い作品ばかりです。そんなのが十一作、しかもそれぞれ違った方向から戦慄させに来るので、飽きないようになっています。それぞれ読むスピードが違うので絶対とは言えませんが、大体5分で終わります。手軽に“戦慄”できるので、是非読んでみてください。

『女子の国はいつも内戦』

辛酸なめ子(河出書房新社)

この本の内容を簡単に説明すると、女子同士での階級社会についてです。冒頭では作者の学生時代について語っています。幼稚園では大柄な女子が権力が強く、小学校ではオシャレな女子や運動部の女子の権力が強く、中学になると頭もよく綺麗な、オシャレで金持ちな女子もいたと書かれていました。派閥も複数つくり、結束を固めたかと思ったら派閥内でも、もめる。私の一番素直な感想は、女子って本当に怖いと思うものです。ぜひビジネス系の皆さんは読んでみてください。

『また、同じ夢をみていた』住野よる(双葉社)

きっと誰にでも「やり直したい」ことがある。学校に友達がいない“私”が出会ったのは、手首に傷がある“南さん”。とても格好いい“アバズレさん”。1人静かに暮らす“おばあちゃん”そして尻尾の長い“彼女”。年齢も個性も違う不思議な人たちとの出会いを通して、「幸せとは何か？」の答えを見つけようとお話です。「君の隣をたべたい」の著者が描く、読み返せば読み返すほどに優しさに包まれる作品です。



..... 今月のブックレビュー.....

図書委員が天空の図書館にある

オススメ本を紹介

『鳥に単は似合わない』阿部智里 (文藝春秋)

一八咫鳥が支配する世界の山内で治めている

宗家の若宮が后選びをすることになった。

物語は4人の姫君の一人「あせび」視点で語られます。それぞれ違う魅力を持つ美しい姫たちのライバル関係や家の権力争いなど、様々な思惑が渦巻く中、事件が起こります。その辺りから私は読み進める手が止まらなくなり、物語は衝撃のラストを迎えます。残り数ページで自分の予想が次々と覆され、読み終わってすぐもう一度最初から読み始めたいほどの驚きでした。ぜひ手に取って読んでください。

『宝石商リチャード氏の謎鑑定』

辻村七子 (集英社)

今回私が紹介する本は『宝石商リチャード氏の謎鑑定』です。この本は今のところ9巻まで発売されていて、2020年にはアニメ化も決定しています。

途轍もない美人のイギリス人宝石商とワゴン系大学生の正義が宝石にまつわる謎を解き明かしていきます。宝石についての雑学にも詳しくなれる本です。ぜひ一度手に取ってご覧ください。

『クビキリサイクル青色サヴァンと戯言遣い』

西尾維新 (講談社)

私が最後にオススメする作品は西尾維新さんのデビュー作!クビキリサイクル青色サヴァンと戯言遣いです。絶海の孤島に隠れ棲む財閥令嬢が、科学・絵画・料理・占術・工学、五人の「天才」女性を招待した瞬間、孤島×密室×首なし死体の連鎖がスタートする!工学の天才美少女「青色サヴァン」こと玖渚友とその冴えない友人「戯言遣い」こといーちゃんは「天才」の凶行を証明終了できるのか?

西尾さんの作品はどれもおすすめです。西尾さん曰く「この作品がだめだったら諦めていた」という始まりの作品を読んであなたも言葉遊びや型破りなミステリの面白さを体感してみてください!

第7回パンドラクイズは... 「探し物は何ですか?」クイズです!

下の一覧は天空の図書館にある本のタイトルですが一部が抜け落ちてしまいました!

●●の部分「落とし物」の一覧から選んで正しい本のタイトルにし、使わなかった言葉を答えて下さい。

——書名——

- 『君と●●と嘘の塔』(綾崎隼)
- 『●●の孤城』(辻村深月)
- 『宵山●●』(森見登美彦)
- 『空色の●●』(梨屋アリエ)

- 『●●を落としただけなのに』(志駕晃)
- 『ハリー・ポッターと賢者の●●』(J・K・ローリング)
- 『野球●●に書いた甲子園』(高校野球ドットコム編集部)
- 『●●探しが好きすぎて』(山田悠介)
- 『●●物語』(J・R・R・トールキン)

——落とし物——	
石	お宝
かがみ	地図
スマホ	手袋
ノート	時計
万華鏡	指輪

応募用紙に答えを記入して「天空の図書館」のどこかにある「模倣本(応募箱)」へ入れてください!

締切: 12月4日(木)

11月28日(木)・12月5日(木)は司書不在です。

